

【レジメンNo】H-59

申請日	2024/2/2	承認日	2024/2/19	委員長	印
レジメン 登録日	2024/2/21	仮承認日		承認者	印

VRd		病名	多発性骨髄腫		血液内 科		医師名		Dr										
対象		多発性骨髄腫(移植適応患者)																	
薬剤商品名 (一般名)		投与量 (mg/m ² 等)	投与方法 div. iv. po等	投与スケジュール (日)															
				1	4	8	11	15	20	22	25	29							
レブラミド(レナミドミド)		25mg	po	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						
デキサメタゾン		20mg	po	○	○	○	○	○	○	○									
ボルテゾミブ		1.3mg/m ²	sc	○	○	○	○	○											
投与間隔・休薬期間等：				21日=1コース															
				8コースまで															
				9コース目以降は【H-33】Ld療法に切り替えること															

【投与処方例（前投薬など）】

- ① 生理食塩液1.2mL+ボルテゾミブ / 皮下注

レブラミド処方時は遵守状況確認表とRevMateキットで空シート、残薬を確認すること。

病棟保管では管理方法も注意。

【肝機能障害による減量基準】

※ボルテゾミブ

輕度肝障害：調節不要

中等～重度肝障害：0.7mg/m²から開始し、忍容性を確認

増量の場合：1mg/m²へ

減量の場合：0.5mg/m²へ

【腎機能障害による減量基準】

※レブラミド 30≤Ccr<50： レナリドミド 1日1回 1回10mg
忍容性を確認し、2コース目以降1回15mgまで増量可
15≤Ccr<30： 1段階減量で1回15mg 2日に1回の内服
透析： 1日1回 1回5mgを内服（透析日は透析後に内服）

【デカドロンの減量基準】

DMの既往がある患者ではデキサメタゾン減量を考慮する

【副作用による減量基準】

※ボルテゾミブ
非血液毒性（G3以上） G2以下に回復するまで本剤の中止し、回復後に1段階減量で投与。
標準投与量：1.3mg/m²→1段階減量：1mg/m²
1段階減量：1mg/m²→2段階減量：0.7mg/m²
2段階減量：0.7mg/m²→中止

【注意すること】

※感染症予防のために、ST合剤と抗ウイルス薬の内服を開始すること

※レブラミド登録と内服の自宅等での管理者を確認すること